

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ仲町台			
○保護者評価実施期間	2025年 12月15日 ～ 2026年1月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 12月15日 ～ 2026年1月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有や意見交換が積極的に行われている。	朝礼を実施し情報共有や意見交換を行っている。	職員1人1人がより高い支援が出来るよう、知識を得て発信する必要がある。
2	児童が楽しめるプログラムの内容が適切か考え、工夫されている。	プログラムの見直しや、それぞれの児童に必要な要素は何かを意見交換している	利用者からの要望を聞き取り、療育のプログラムで実施できるよう取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員基準は満たしているが、利用人数に比してスタッフの数が物足りなく感じる。	児童福祉の魅力が社会にあまり認知されていない。運営会社、人事上の都合から人員の補充をすぐにするのは難しいこと。	事業所外でも活き活きとし、他社の方から働きたいと思われる事業所にしていく。人事部門への要望、状況確認を具に行うとともに、職員が比較的少ない状況でも事故やトラブルが抑えられるよう日々危険予測、ヒヤリハットの共有などで安全管理意識を維持、向上していく。
2	地域との交流が少ない。	公園での交流はあるが、回数も少ない。日々の支援だけで手一杯になっており、地域との交流の機会を設定する余裕が持てていない。	交流も持ちやすい施設との機会を増やしていく。地域の福祉イベントやお祭りなどの予定を確認し、利用児童の参加ができそうなところがあるかを検討。
3	利用人数に比してスペースが狭いと感じられる。	利用者が高学年の児童が多く狭く感じている。	利用人数が多い日は机の位置や児童の過ごすスペースの位置関係を意識し直し、狭く感じることの無い運営を目指していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ仲町台

公表日 2026年3月10日

利用児童数 49

回収数 25

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3		3	・実際に子供が利用しているの様子を見ていないのでわからないが、広そうとは思えない ・子供達の体が大きくなると、室内での活動が限られるのでは	・活動内容によって机の配置などを工夫しながら安全安心に利用していただけるようにする。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	7		4	・学級日に9時より前の利用が制限され不便さを感じる・送迎添乗が1名ですがどうなっていますか・先生の人数が何名いるかわからない。	・障害福祉サービスにおける指定基準、人員基準など基礎的な知識を保護者に提供する機会を検討（親睦会など）
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	3		6	・環境についての発信が少ないので、今後環境についても発信してもらえると答えられると思います。	連絡帳の写真を工夫し、教室内の環境がわかるよう改善する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	6		3	・トイレが奥で怖いと子供が言ったことがある・第一、第二教室に別れてからどのような空間かわからない。	トイレの雰囲気良くなるポップの設置 連絡帳での写真の撮り方の工夫
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2			・いつもありがとうございます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	2				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1			・対応が早くて助かっています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				多様多様にありがとうございます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	5	9		交流する機会を作っていきたい
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	6	4	4	・コロナ、インフルと流行りが多いので研修会等は難しいと思います。	・日々に申送りや面談を通じてお伝えする
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	4	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2		2	・面談はとても丁寧でありがたいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	4		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	11	6	・一人っ子なので何とも言えず ・保護者との交流があるとありがたいです。	・オープンデーを設定し交流を図っていただく

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	2		1	・活動の様子を丁寧にお知らせくださりありがたいです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	2		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23			2	・先生方を信頼していて、家庭とは違った安心感があるようです。 ・いつも楽しく満足して帰ってきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	2			・最近行き渋りあり ・支給量目いっぱい通いたいと楽しみにしています。 ・仲のいい友達ができ安心しています。	・ヒアリングし何がネックなのかを確認、子供達一人一人に寄り添った支援をしていく
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	2			・いつも手厚いご支援ありがとうございます。 ・先生方もステキです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ仲町台					公表日 2026年3月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	5	送迎順を工夫し運営している。	・ドライバーが不足している ・迎えや送迎時に職員不足を感じるため職員を増やしたい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	特性的に気になる物を見えないようにしている	・事業所の収納スペースが少ない為、環境上の配慮が難しい ・特性の強い子用のスペースがもう少し作れるといい		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	収納（棚）を購入し整理を行う	・もう少し相談室を整理して清潔感を出す		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	評価表の報告を行い改善を行う	・現状まだ実施できていない		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・意見を出せるよう話し合いの時間がある			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	評価表の報告を行い改善を行う	・行っているかわかりかねる		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		自拠点にあった研修を職員が用意し行えるように改善していく	・研修内容はもっと練った方が良い		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・子供のニーズを確認できる様、聞き取りを行っている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	日々の朝礼で共有の時間を設ける	MTGが増えるといろいろな情報が増えてうれしい		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月ごとのプログラムが被らないよう工夫されている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・朝礼時に確認している ・イベント詳細をLINEWORKSのノートを使い共有、役割等わかりやすくする	・曜日や状況によってはできないことがある ・大まかな認識はできているが具体的な話し合いがあるとうれしい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・LINEWORKSを活用し共有を行う	・曜日や状況によってはできないことがある ・所定労働時間と業務内容（送迎含む）を考えると時間が取れない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・児童一人一人の記録を毎日つけている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		・学校との連携をもっと密にしたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・学校の先生と情報共有を行っている	・学校との連携をもっと密にしたい
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		・学校との連携をもっと密にしたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	・利用者によっては、今後あるかと思うので差支えない範囲で、今までの情報共有していく。	・稀なケースでわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・公園での交流あり	児童館や区民施設等を活用していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・職員の補充を行い対応していく	・人数が足りず参加しにくい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・帰りの送迎時に相談にのることがある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		オープンデーを設定し交流できる環境を作っていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・毎日の情報共有にて行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・ブログを行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		地域で開かれた行事（お祭り、地域イベントなど）に参加するイベントを設定していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・研修を受けている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			